

「私たちの働き方」の進化を、山登りと1ヶ月のカレンダーでイメージしてみました

交替だけど、月に8日休めれば体の疲れもとれるし、休みの計画も立てられる。ただ、交替の休みだと現場が動いてからトラブルがないか心配だな。

週休2日で休みが決まっているから仕事も休みも計画が立てやすい。早く帰れる日は自分の時間も持てる。休日の計画も暦どおりに立てられるぞ!

2回の土休でからだの疲れをとろう。でも、他産業の同級生は毎週土日に休めてるんだってさ。いいな。

9合目

2000年		〇〇月					
月	火	水	木	金	土	日	
			1	2	3	4	
			残3	ノ一残デー	閉所	閉所	
5	6	7	8	9	10	11	
残3	残3	ノ一残デー	残3	残3	閉所	閉所	
12	13	14	15	16	17	18	
残3	残3	ノ一残デー	残3	ノ一残デー	閉所	閉所	
19	20	21	22	23	24	25	
残3	残3	ノ一残デー	残3	残3	閉所	閉所	
26	27	28	29	30			
残3	残3	ノ一残デー	残3	残0			

時間外: 45時間 休日数: 8日

7合目

2000年		〇〇月		時短推進強化月間			
月	火	水	木	金	土	日	
			1	2	3	4	
			残3	残3	土休	閉所	
5	6	7	8	9	10	11	
残3	残3	ノ一残デー	残3	残4	統一土閉	閉所	
12	13	14	15	16	17	18	
残3	残3	ノ一残デー	残3	残3	土出	閉所	
19	20	21	22	23	24	25	
振休	残4	ノ一残デー	残4	残4	閉所	閉所	
26	27	28	29	30			
残4	残4	ノ一残デー	残4	残0			

時間外: 55時間 休日数: 8日

5合目

2000年		〇〇月		時短推進強化月間			
月	火	水	木	金	土	日	
			1	2	3	4	
			残3	残3	土出8	閉所	
5	6	7	8	9	10	11	
残3	残3	ノ一残デー	残3	残4	統一土閉	閉所	
12	13	14	15	16	17	18	
残3	残3	ノ一残デー	残3	残3	土出8	閉所	
19	20	21	22	23	24	25	
残3	残3	ノ一残デー	残3	残4	土休	閉所	
26	27	28	29	30			
残3	残3	ノ一残デー	残3	残3			

時間外: 72時間 休日数: 6日

5合目
4週6休(5閉所)
所定外労働時間は72時間

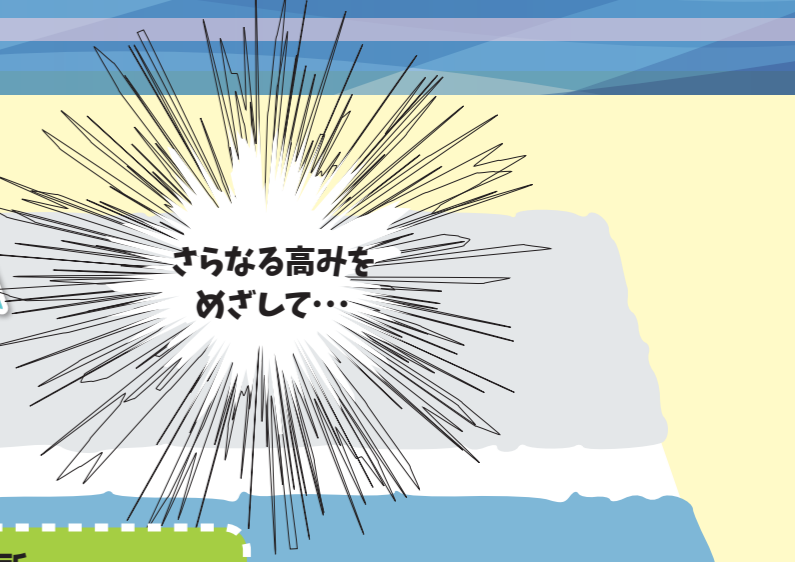
6合目
4週7休(5閉所)
所定外労働時間63時間以内

7合目
4週8休(6閉所)
所定外労働時間55時間以内

8合目
4週8休(7閉所)
所定外労働時間50時間以内

9合目
4週8閉所
所定外労働時間45時間以内

土曜日はすべて閉所しよう



ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて

作業所の4週8閉所と所定外労働45時間以内を目標に「私たちの働き方」の進化の過程を考えてみました。カレンダーによって状況は異なりますが、近い将来、9合目のような働き方をスタンダードにすることが求められています。登り始めの段階で高みをみてしまうと、くじけてしまうかもしれません。しかし、少しずつ着実に高みをめざして取り組んでいくことで、いずれ高みにたどりつくこともできるのではないのでしょうか。「高きに登るには早きより」と言います。

ただ、「山を登る」ためには私たちの努力だけでは限りがあります。「装備」を「環境」に応じて整えていくことも必要となります。では、労働時間短縮にむけての「装備」「環境」とはなんでしょう。「装備」とは、私たちが働く作業所やオフィスなどの職場や使用する資機材、賃金制度をはじめとする会社の各種制度などのインフラを指します。十分な「装備」がなければ、満足のいく成果があげられないというのは、想像に難くないでしょう。

次の「環境」ですが、これは私たちの仕事を指します。外勤者にとっては目的物たるビルやトンネル、道路などの構築物を『いくらで』『いつまでに』『どのように』造るかがそれに当たります。与えられた「環境」如何では自らの努力による改善には限りがあります。「労働時間短縮」という山を登っていくにあたっては、この「環境」と「装備」と「私たち自身の努力」の三位一体となった取り組みが不可欠です。

皆さんが憂いなく労働時間短縮に努めるうえでの障害はなんでしょう。「環境」「装備」をどうしたいと望んでいるのでしょうか。皆さんの憂いを取り除くために加盟組合があります。そして日建協があります。労働環境の改善にむけて、ともに一歩ずつ歩んでいきましょう。